

2026 年 9 月 15 日

報道関係各位

株式会社東京ドーム

【イベントレポート】

あらゆるホラーが一堂に会した『東京ホラー特区!!2026』が閉幕
海外セレブらも来日！

「Dive into Horror」を掲げ、ホラーを深く愛するファンと共に熱狂の3日間

東京ドームシティ(文京区後楽1-3-61)のプリズムホールにて、2026年9月11日(金)～13日(日)の3日間、あらゆるホラーが一堂に会するイベント『東京ホラー特区!!2026』が開催されました。

「Dive into Horror(恐怖解放区へ、ダイブせよ!)」をテーマに掲げた本イベントには、連日、熱狂的なホラーファンや若い世代、ファミリー層までさまざまな来場者が詰めかけ、会場内は溢れんばかりの熱気とドキドキ感に満ちた大盛況の3日間となりました。映画、ドラマ、ゲーム、コミック、アートなどジャンルの枠を超えたホラーコンテンツが集結し、来場者は思い思いの形でホラーエンターテインメントを満喫しました。



●興奮のステージイベント

特設ステージでは、映画監督・キャスト・作家・クリエイターらが登壇するバラエティ豊かなプログラムが連日開催されました。

＜初日(9月11日):豪華ハリウッドゲストと日本の異色タッグで華やかに開幕＞

オープニングセレモニーは、謎の仮面ダンス集団「O-MENZ」による華麗なパフォーマンスで開幕。続いて、『グレムリン』のジョー・ダンテ監督、ザック・ギャリガン氏、『ターミネーター』シリーズのリンダ・ハミルトン氏、エドワード・ファーロング氏らセレブをはじめ、清水崇監督、関暁夫氏、五味弘文氏ら国内外の豪華ゲストがステージ上に勢揃いしました。初来日となるダンテ監督が「今日が初めての東京です。皆さんは私が日本で初めてお会いするオーディエンス。イベントを楽しみにしています」と語ると、最新作『八つ墓村』の公開を控える清水監督も「ホラーな人たちに囲まれるのはすごく幸せな気分」と笑顔を見せ、客席からは大きな歓声と拍手が湧き起こりました。ステージ後半では、『日本ホラーゲーム大賞2026 produced by 百室』の授賞式をはじめ、平将門公の伝説などを紐解く歴史トーク、関氏と五味氏による異色の対談、楳図かずお氏の生誕90周年記念トークも行われ、初日から多角的なテーマでホラーの深い魅力を伝えていました。



オープニングセレモニー

楳図かずお生誕90周年企画 レトロスペクティブ楳図かずお
～「恐怖マンガ」というジャンルを生み出した天才漫画家・芸術家～

<2日目(9月12日):映画ファン歓喜!ハリウッドの秘話と伝説の名作を深掘り>

2日目は、国内外の映画ファンを熱狂させる企画が目白押しとなりました。ハリウッドセレブによる単独のトークステージでは、名作の撮影裏話や来日した喜びなどが明かされ、ファンにとって忘れられない貴重な機会となりました。リンダ・ハミルトン&エドワード・ファーロングのステージでは、『ターミネーター2』についてエドワード氏が「人生が一変した」と回想。リンダ氏は1歳の子供を育てながら1日12時間におよぶ過酷な筋トレと撮影を両立させた裏話を披露し、一足早い誕生日祝いに「日本のファンは特別。温かい歓迎に心から感謝します」と喜びの様子を見せました。ジョー・ダンテ&ザック・ギャリガンのステージでは、『グレムリン』についてダンテ監督が「何十年も経ったいま、東京で本作の話ができる」と長年愛される喜びを口にしました。ビリー役のザック氏は「当時はアクション映画だと思って撮影していたが、完成作を見て監督らしい楽しい作品だと納得した」と明かしました。また、映画『八つ墓村』のスペシャル・トークステージには清水崇監督や高嶋政伸氏らが登壇。名作に対するリスペクトや撮影時の貴重なエピソードが披露され、観客は深く聞き入っていました。「東京国際ファンタスティック映画祭」のゲストを迎えたステージでは、当時の思い出や映画祭の功績を振り返るとともに、今後の映画祭復活への期待が語られました。



リンダ・ハミルトン&エドワード・ファーロング
スペシャルステージ



ジョー・ダンテ&ザック・ギャリガン
スペシャルステージ



『八つ墓村』 スペシャル・トークステージ



東京国際ファンタスティック映画祭は何をもたらしたのか

<最終日(9月13日):ジャパニーズホラーの未来、そして感動のフィナーレへ>

最終日の午前には、ホラーの女王・佐伯日菜子氏が登壇し、ホラーを愛するなべやかん氏とともに90年代ジャパニーズホラー黄金期の貴重な舞台裏を語るトークからスタート。映画で演じた貞子の思い出を聞かれ、「20歳でイケイケだったので、何でもやったら、という気持ちでした」と当時を振り返りました。『MOVIE WALKER PRESS HORROR presents NEXT J-HORROR GENERATION』では、清水崇監督と新進気鋭の若手監督・俳優陣が集結し、ジャパニーズホラーの未来を切り開く新作映画が多数発表され、ゲスト陣によるトークが繰り広げられました。夕刻には、来場者の投票によって選ばれる『東京ホラー特区!! インディーホラーゲーム大賞』の授賞式が催され、『60病』が受賞。会場から温かい拍手が送られました。イベントの最後には海外セレブらが再びステージに集結してグランドフィナーレを迎え、3日間の熱狂は鳴りやまない拍手とともに幕を閉じました。



ホラーの女王・佐伯日菜子 Jホラー黄金期を語る
撮影時の思い出と秘話、恐怖体験まで



MOVIE WALKER PRESS HORROR presents
NEXT J-HORROR GENERATION

●お化け屋敷の人形たちからミイラまで

ステージ以外の会場内も、まさに「ホラー」を楽しむ展示や体験企画が満載。憧れのハリウッドセレブと直接ふれあえる撮影会・サイン会・セルフイー会をはじめ、愛らしいギズモとの撮影会のエリアにも長蛇の列ができ、参加者は興奮冷めやらぬ様子で記念撮影を楽しむ姿が見られました。そのほかにも、五味弘文氏が手掛けた約35年の歴史を誇る「お化け屋敷の人形回廊」や、ナスカの異星人ミイラ(レプリカ)などが並ぶ「ムー メキシコ神秘展」の前では、来場者が熱心に写真に収めていたほか、体験型アトラクション「OBAKEN ZOMBIE ESCAPE」からは絶叫が聞こえるなど、会場は絶えず興奮と笑顔に包まれました。物販コーナーでは、天野喜孝氏によるキービジュアルのオフィシャルグッズをはじめ、グッズを買い求める人の波ができたほか、個人クリエイターのブースでも熱のこもった交流が行われるなど、どこを巡ってもホラーの熱気が途切れることはありませんでした。あらゆる角度からホラーの魅力を味わい尽くせる、まさに「特区」の名にふさわしい一大イベントとなりました。



会場の様子

●『東京ホラー特区!!2026』酒井美佐子プロデューサー(株式会社東京ドーム) コメント

『東京ホラー特区!!2026』を無事に開催することができました。はじめに、海外セレブをはじめ、本イベントにご協力・ご支援いただいた実行委員会や関係者の皆様、そしてご来場くださった皆様に心より感謝申し上げます。様々なホラーが集い、新しい発見や再発見、ホラーに携わるクリエイターとの交流が生まれるイベントを実現することができました。「恐怖」の捉え方は人それぞれ千差万別です。それゆえホラーも多種多様な進化を遂げてきたのではないのでしょうか。そして、その進化には歴史と個性があります。その魅力を切り取り、「東京ホラー特区」という新しい「場」を創り出しました。過去の偉人が残した素晴らしい作品と新しい作品が共存するこの「特区」が、これからもホラーを愛する皆様の集いの場となり、皆様に再びお会いできる機会にできればと考えております。

ぜひ、次の開催も楽しみにしてください！

【『東京ホラー特区!!2026』開催概要】

- 開催日: 2026年9月11日(金)～13日(日)
- 時間: 9月11日(金)11:30～19:00 / 12日(土)10:30～19:00 / 13日(日)10:30～18:00 ※最終入場は閉館の30分前まで
- 場所: プリズムホール(東京ドームシティ)
- 料金: ・入場券(日時指定)
 - 一般 前売券 3,800 円 / 当日券 4,300 円
 - 中高生 前売券 2,200 円 / 当日券 2,700 円
 - ・3DAYチケット(先行入場可能、前売のみ) 12,000円
 - ※先行入場 9月11日(金)11:00～11:30、12日(土)・13日(日)10:00～10:30
 - セブンチケット、ローソンチケット、イープラス、チケットぴあ、楽天チケット、チケットペイ、スタイルオンビデオ
- 主催: 東京ホラー特区!!2026 実行委員会
- 公式サイト: <https://www.event-td.com/horror-tokk/>
- 公式 X: <https://x.com/tokyohorrorokk>
- お客様からのお問い合わせ先: 東京ドームシティ わくわくダイヤル TEL.03-5800-9999(受付:10:00～17:00)

<主な内容>

- ・「日本ホラーゲーム大賞2026 produced by 百室」、
- 「東京ホラー特区!!インディーホラーゲーム大賞」同時開催
- ・ホラーグッズの物販や体験ブース
- ・豪華ゲストやクリエイターらによるステージでのトークイベント
- ・豪華ゲストによる撮影会、サイン会

など

東京ホラー特区!!
2026